

不織布2枚重ね・半透明マルチ・疎植で 4月どりキャベツの生育促進

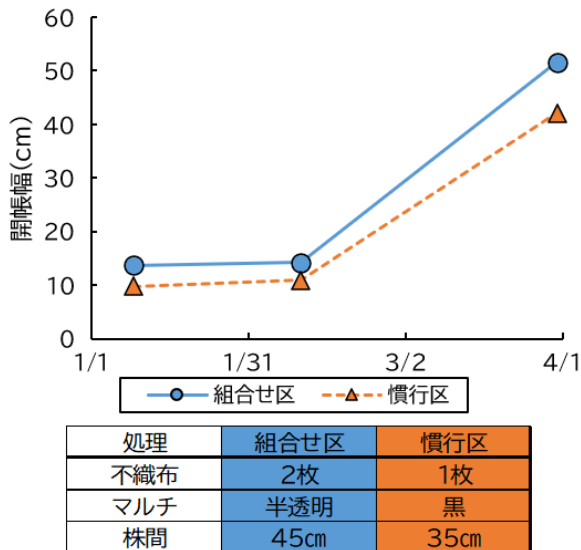


図1 処理の組合せが生育に及ぼす影響
(令和7年、岡山市南区)

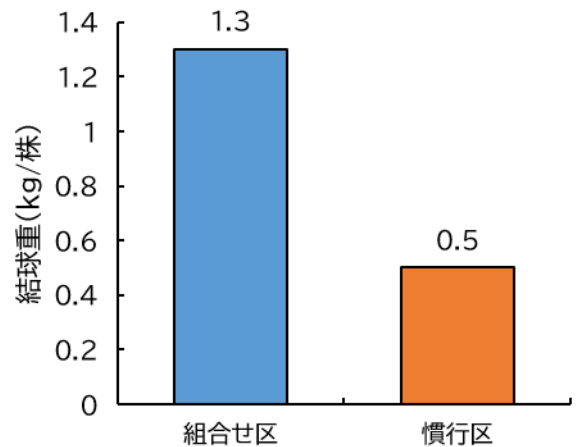


図2 処理の組合せが結球重に及ぼす影響
(令和7年4月下旬収穫、岡山市南区)

開発のねらい

加工・業務用のキャベツは、年間を通じた安定出荷が求められますが、4月どりは育ちにくく収穫量が少ない時期です。そこで、春先の生育を進めて、収穫を4月に早める栽培の組み合わせを開発しました。

新技術の概要

- 不織布を2枚かけ、半透明のマルチ資材と広めの株間を組み合わせることで、畑の温度が上がり、キャベツの育ちを進められます（図1）。
- さらに、その後も玉が太りやすくなり、従来より早い4月下旬の収穫につながります（図2）。

活用場面

冬に植えたキャベツを春先にしっかり育てたい場面で役立ちます。畑の温度を確保しながら玉の肥大を促すことで、出荷が少ない時期の安定生産に役立ちます。